

平成29年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	(1) 単位制の利点をいかした年次進捗制の教育課程に基づき、生徒一人ひとりの可能性を最大限に引き出す教育活動を展開する。 (2) 基礎的・基本的な知識・技能の習得とそれらを活用する力の育成を図る。 (3) 学習意欲を高め、自ら考え、表現する力を育む。	(1) 新しい教育課程とその理念に基づき、本校が『育てたい人物像』を育てるための教科指導に取り組む。 (2) 徹底して「わかる授業」を追求する授業改善と「学習効果」を実感できる仕組みづくりを推進する。	(1)-1 校内各組織(グループ・年次・教科)の連携と協働により、新しい教育課程に基づいた教育活動を展開する。 (1)-2 授業における指導目標を明確化し、基礎学力の定着、社会人として求められる様々な資質の醸成を図る。 (2) 「基礎学力育成シート」「視聴覚教材」「学び合いのある授業」などを効果的に取り入れ、「確かな学力」の育成と「達成感のある授業」を各教科で研究、実践する。	(1) 新しい教育課程の理念に基づく教育活動を展開し、目標とする人材育成ができたか。 (職員アンケート、生徒による授業評価、基礎力診断テストの結果、進路状況) (2) 各教科での取組の結果、生徒の学習状況が改善されたか。 (生徒による授業評価、生徒の状況観察、各種試験・資格取得の結果、基礎力診断テストの結果)					
2	生徒指導・支援	(1) 生徒の規範意識を育成し、社会や集団の一員であるという自覚を持たせる。 (2) 学校生活への積極的な参加を通し、豊かな人間性やコミュニケーション能力を育成する。 (3) 教育相談・支援体制の整備に努め、生徒一人ひとりの豊かな学校生活を支援する。	(1) 期待される行動やマナーを果たそうとする感性や態度を育むとともに、教育相談等とおして一人ひとりに行き届く支援に努める。 (2) 精選された学校行事や様々な活動とおして、集団への帰属意識や他者と協力して成果を上げようと努力する意識を涵養する。	(1)-1 全職員が「授業規律」の徹底と「規範意識や道徳観を育むこと」の重要性を確認するための研修会を開催するなどして、共通理解を図る。 (1)-2 各年次に配置した教育相談コーディネーターの役割を明確化するなどの方策により、生徒一人ひとりに応じた指導や支援を行う。 (2) 各種行事の目的や意義を理解させるとともに、部活動や委員会活動などの活発化を図る中で、チームワークを尊重し、責任感を持って、自ら計画的に取り組めるよう指導や支援を行う。	(1) 個々の生徒の状況把握、課題を認識した適切な指導、支援が行えたか。 (生徒の状況観察、指導件数の推移、教育相談の状況、いじめ・学校生活アンケート) (2) 各種行事がスムーズに運営され、生徒が満足感を得られたか。また、部活動や委員会活動の活発化が図れたか。 (各種行事の状況、行事アンケートの結果、部活動への加入状況と活動状況)					

3	進路指導・支援	<p>(1) 生徒一人ひとりの可能性を伸ばし、多様な進路希望の実現を支援する。</p> <p>(2) 生徒が自ら将来像を描き、主体的に生涯を生きる姿勢を育てる。</p>	<p>(1) 自分の可能性を信じて目標に向き合う「挑戦力」を育成するとともに、それを支える教職員の進路指導力の向上を図る。</p> <p>(2) 社会人・職業人としての将来像を具体的に思い描けるキャリア教育を推進する。</p>	<p>(1) 生徒が自己理解を深め、より高い進路目標を実現できるよう、職員向けの研修会を開催するなど、組織的・系統的な進路指導体制を整備する。</p> <p>(2) キャリア講演会や職業体験などのキャリア学習の機会を担当するグループと各年次が連携しながら、段階的・計画的に実施し、長期的な視野にたった指導、支援を行う。</p>	<p>(1) 生徒の進路指導、支援が適切に行われ、目標実現がなされたか。 (生徒の進路状況、進路先から聞き取りなど)</p> <p>(2) 段階的・計画的な取組で、生徒個々の状況把握、適切な指導、支援が行えたか。 (各種進路行事での取組状況や振り返り結果、生徒の進路状況)</p>					
4	地域等との協働	<p>(1) 家庭や地域との連携により、パートナーとして愛され、支持を得られる学校づくりを推進する。</p> <p>(2) 小中学校との連携と協力により、教育課題の解決に向けた取組みを推進する。</p>	<p>(1) 生徒が社会の一員として生活することの意義を学ぶ機会として、地域の防災活動や行事に積極的に参加する。</p> <p>(2) 3校種で教育課題を共有することで、子供たちを連続性の中で育てる仕組みづくりを研究する。</p>	<p>(1) 市内からの通学者が減少する中で、地域社会の一員としての意識を高めるために、地域の行事などに積極的に参加できる環境づくりを行う。</p> <p>(2) 小中高連携教育に係る様々な取組の中で、課題の共有とその解決に向けた連携や協働を図る。</p>	<p>(1) 生徒が地域の各種行事に参加できたか。 (地域行事への参加状況)</p> <p>(2) 運営会議、協議会、教育連携研修会などで、具体的な議論や取組が行えたか。 (各種会議・研修会での議事録、アンケートの結果)</p>					
5	学校管理 学校運営	<p>(1) 生徒が安心して学校生活を送ることができる、安全な学校づくりに取り組む。</p> <p>(2) 一層の組織的な学校運営と業務の効率化を図る。</p>	<p>(1) ①教職員が意思統一を図る中で、規律とマナーに守られた教育環境と明確に目標をもった教育活動を提供する。</p> <p>②生徒と教職員が、ともに自らの生命を守ろうとする防災意識の向上を図る。</p> <p>(2) ①誠実に職務に向き合うことにより、生徒・保護者・県民から全幅の信頼を得られる学校づくりに取り組む。</p> <p>②建学の精神に立ち返り、本校の次の10年を見据えた将来像を構築する。</p>	<p>(1) ①校内研修会の充実などにより、職員の意識向上を図り、本校の教育理念に基づいた教育活動を行う。</p> <p>②防災意識の向上のため、D I Gを活用した防災訓練を取り入れる。</p> <p>(2) ①事故防止会議の内容を充実させ、職員の意識の啓発に努める。</p> <p>②10周年記念行事の企画・運営をとおして、これまでの経過を踏まえた本校の将来像を職員で共有する。</p>	<p>(1) ①規律とマナーに守られた教育環境を提供することができたか。 (研修会の実施状況、生徒による授業評価、生徒の状況観察、いじめ・学校生活アンケート)</p> <p>②D I Gを活用した効果的な防災訓練が実施できたか。 (防災訓練の実施状況)</p> <p>(2) ①職員の心に響く事故防止会議ができたか。</p> <p>②本校らしい10周年記念行事の準備ができたか。</p>					